再発子宮がん手術専門外来の開設について

➢　再発子宮がん手術専門外来について

初回治療後に残存または再発してしまった子宮がんの治療は非常に難しいとされています。特に、放射線が照射された領域（照射野）に発生した再発・残存癌は、手術療法の難易度が高いため、本邦のほとんどの施設で手術以外の治療法（化学療法や緩和医療）が選択されているのが現状です。現行の化学療法には再発・残存子宮がんを完治させる力はないため、多くの場合、数年以内に患者様の命が危険にさらされることになります。

このような現状を少しでも改善したいと考え、奈良県立医科大学産婦人科に「再発子宮がん手術専門外来」を開設いたしました。当外来の担当医師は、初回治療後に残存または再発してしまった婦人科がん、特に放射線治療後の再発・残存子宮がんに対する手術療法を数多く実施してきました。術後合併症の発症頻度は決して低くないですが、完治している方は少なくありません。これまでの治療成績を国内外の医学雑誌に報告しておりますが（参考文献1-3)、5 年生存率は 40-50%となっています。

「再発子宮がんの診断を受けたがどんな治療法があるのか？」、「化学療法を勧められたが手術はできないのか？」など、悩んでいる患者様がおられましたら、当外来をご受診ください。

➢　対象となる患者様

当外来が手術を検討させていただくのは、①原疾患が遠隔転移を伴わない子宮頸癌または子宮体癌、②単発または同一領域に 2 個までの再発、③腹水が存在しない、④全身状態に全く問題が無い（日常生活が制限なく行える)、の条件を満たす患者様です。外来で診察させていただいた後に、手術をお引き受けするか否かを判断させていただきます。

診察の結果、上記の条件を満たさない、または条件を満たすが手術の実施が難しいと判断される場合がございます。そのような場合は、紹介元にお戻りいただくことになります。あらかじめご理解ください。

➢　当院で実施可能な術式

以下の術式の実施が可能です。診察所見と画像診断をもとに、適切な術式を選択させていただきます。

・広汎子宮全摘出術
・骨盤内臓全摘出術（＋人工肛門造設術・尿路変更術）
・膣全摘出術

・その他の術式による腫瘍摘出

➢ 受診の方法

受診を希望される場合は、地域医療室から予約（地域連携枠：木曜日：馬淵）をおとりください。受診の際には、これまでに治療を受けた施設からの紹介状および各種検査結果（検査データ、画像読影リポートおよび画像ファイルの入った CD-R など）を持参していただく必要があります。

➢ 問い合わせ先

奈良県立医科大学産婦人科（担当：馬淵誠士）
電子メール：obgyn@naramed-u.ac.jp
電話番号：0744-29-8877

参考文献

1. Mabuchi S, et al. The efficacy of surgical treatment of recurrent or persistent cervical cancer that develops in a previously irradiated field: a monoinstitutional experience. Int J Clin Oncol. 2017;22:927-936.
2. Mabuchi S, et al. Radical hysterectomy after radiotherapy for recurrent or persistent cervical cancer. Int J Gynaecol Obstet. 2017;139:185-191.
3. 馬淵誠士ら. 広汎子宮全摘術の実際. 産科と婦人科　Vol.86　No.6　2019 年 05 月